

第32回まちcomiリサーチ 『郷土の伝統文化について』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『郷土の伝統文化について』のアンケートを実施いたしました。

<調査概要>

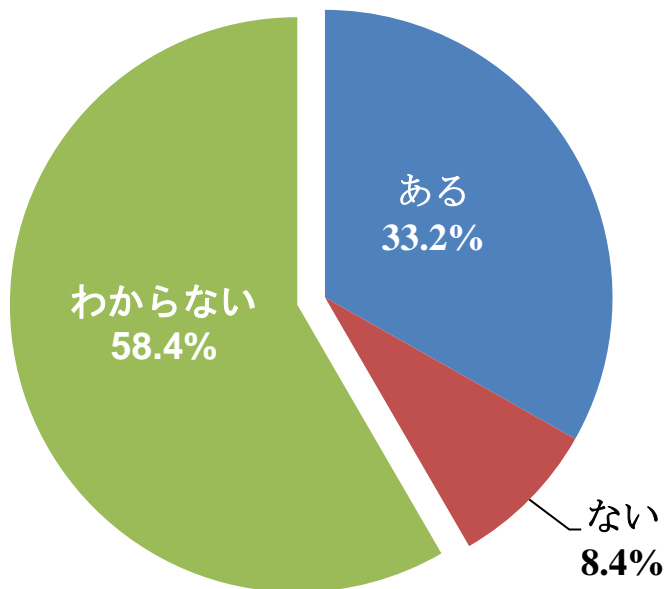
調査期間	2011年9月12日(月)～2011年9月19日(月)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
調査対象数	680,425名(2011年9月12日現在)
有効回答数	19,261件

<質問項目>

1	お住まいの地域に伝統文化(郷土芸能・伝統工芸)はありますか？
2	上記で「ある」と回答された方は、具体的に教えてください。
3	お住まいの地域の伝統文化にいつ頃から関心を持ちましたか？
4	伝統文化にお子さまとどのように親しんでいますか？
5	伝統文化活動への参加が最も難しくなる要因は何だと思えますか？
6	どのような環境であれば伝統文化活動に参加したいと思えますか？
7	伝統文化について日ごろの考えをお聞かせください。
8	あなたの年齢を教えてください。
9	お子さまの年齢を教えてください。
10	お住まいの地域をお答えください。

質問1:お住まいの地域に伝統文化(郷土芸能・伝統工芸)はありますか？

— 約6割の方が「分からない」と回答。



約6割の方が、「わからない」と回答され、お住まいの地域の伝統文化についてあまり身近でない方が多いという結果になりました。

後の自由回答から、地域による伝統文化活動への取り組みの差異や、転居により地元ではないので分からないといった意見も多くみられました。

テレビなどの特集で地元の伝統文化を初めて知ったという意見もあり、身近な場所に情報が少なく認知されずらくなっている可能性も考えられます。

質問2: 上記で「ある」と回答された方は、具体的に教えてください。

— 各都道府県毎に回答の多かったものを記載します。

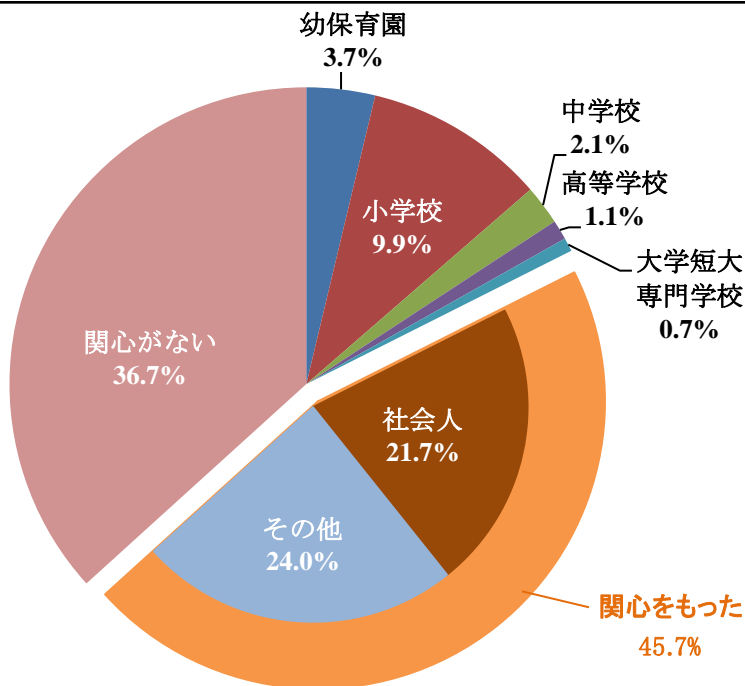
※回答数:6,222件

都道府県	1位	2位	3位
北海道	太鼓(本陣太鼓、義経桜太鼓)	アイヌ文化、民謡	ユーカラ織り
青森県	ねぶた祭り	津軽塗	獅子舞
岩手県	鬼剣舞	神楽(伊勢流黒岩太神楽、花貴伊勢神楽)	鹿踊
宮城県	神楽(羽立大神楽、宮林神楽等)	太鼓(けやきっこ太鼓、縄文太鼓等)	こけし細工、弥治郎こけし村
秋田県	七夕祭	ささら	春慶塗り
山形県	米沢織物	小松豊年獅子踊り	上杉祭り
福島県	赤べこ	采女太鼓	三春駒
茨城県	結城紬	お囃子(神田囃子、石川囃子)	お祭(水海道祇園祭、祇園祭)
栃木県	山あげ祭	結城紬	お囃子
群馬県	飾り馬	盆踊り	-
埼玉県	お祭(川越まつり、ほろかけ祭)	ささら獅子舞	铸造
千葉県	お祭(南総里見まつり、七年祭り)	ばか面踊り	獅子舞(小室の獅子舞、上本郷のしし舞)
東京都	八王子車人形	絹織	お囃子(清水囃し、府中囃子)
神奈川県	鎌倉彫	お祭り(貴船祭り、万燈祭り)	お囃子(寺山囃子、菅田囃子等)
新潟県	鋳器銅器	神楽	彫金
富山県	民芸村	-	-
石川県	金箔	加賀友禅	九谷焼
福井県	王の舞	戸祝い	若狭塗
山梨県	太鼓(藤木の太鼓乗り)	道祖神	きっかんじよ
長野県	御柱祭	漆工芸	神楽
岐阜県	陶器(美濃焼、織部焼)	真桑文楽	地歌舞伎
静岡県	お祭(凧祭り、天王祭、浜松まつり等)	太鼓	遠州大念仏
愛知県	大治太鼓	お祭(おいでん祭、万燈祭等)	三河の手筒花火
三重県	組み紐	唐人おどり	伊勢型紙
滋賀県	仏壇(彦根仏壇等)	お祭(さんやれ祭、長浜曳山祭り)	びんてまり
京都府	宇治田楽	西陣織	清水焼
大阪府	だんじり	地車	毛織物
兵庫県	だんじり	酒蔵	革細工
奈良県	高山茶筌	ほうらんや火祭り	すすつけ祭り
鳥取県	麒麟獅子	しゃんしゃん傘踊り	和紙
島根県	石見神楽	安来節	不味流
広島県	神楽	扇子踊り	熊野筆
山口県	萩焼	楽踊り	笑い講
徳島県	阿波踊り	藍染	人形浄瑠璃
香川県	獅子舞(松崎獅子舞、夫婦獅子舞)	漆器	張り子
愛媛県	新居浜太鼓	継ぎ獅子	桜井漆器
福岡県	高取焼	博多人形	小倉祇園太鼓
佐賀県	浮立(金浮立、鉦浮立等)	獅子舞	園部くんち
長崎県	長崎くんち	浮龍太鼓	戸町音頭
熊本県	きし馬	肥後象嵌	お祭(風鎖祭)
大分県	一村一品運動	-	-
宮崎県	巨田神楽	雨太鼓	相撲踊り
鹿児島県	太鼓踊り	初午祭	薩摩焼
沖縄県	エイサー	琉球舞踊	旗頭

※和歌山県、高知県、岡山県は未回答のため記載しておりません。

質問3:お住まいの地域の伝統文化にいつ頃から関心を持ちましたか？

— 約半数の方が、大人になってから関心をもったと回答。

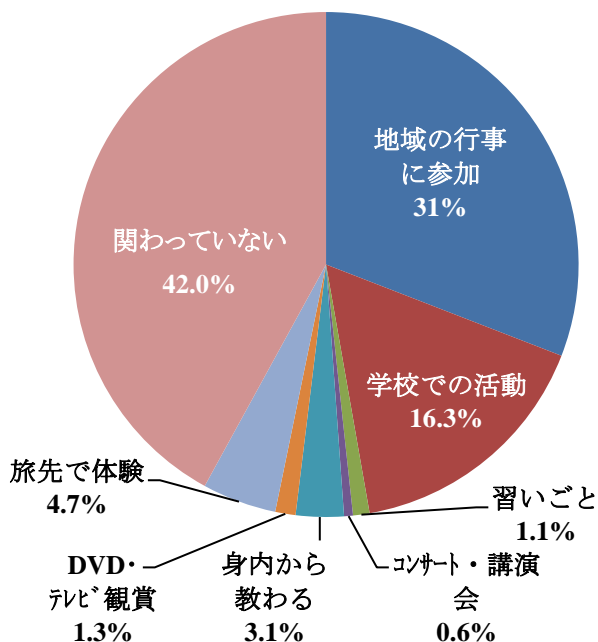


社会人やパート・アルバイト、主婦を含む大人になってから関心を持たれた方が半数を占める結果となりました。

幼少期のころに経験した伝統文化を、地元を離れてみて、改めて良さが分かるという方も多くみられるのかもしれませんが、また、地元で長く住むことで地域との交流する機会も増え、関心を持つ方が多いことが考えられます。

質問4:伝統文化にお子さまとどのように親しんでいますか？

— 約3割の方が、お子さまと地域の行事に参加していると回答。

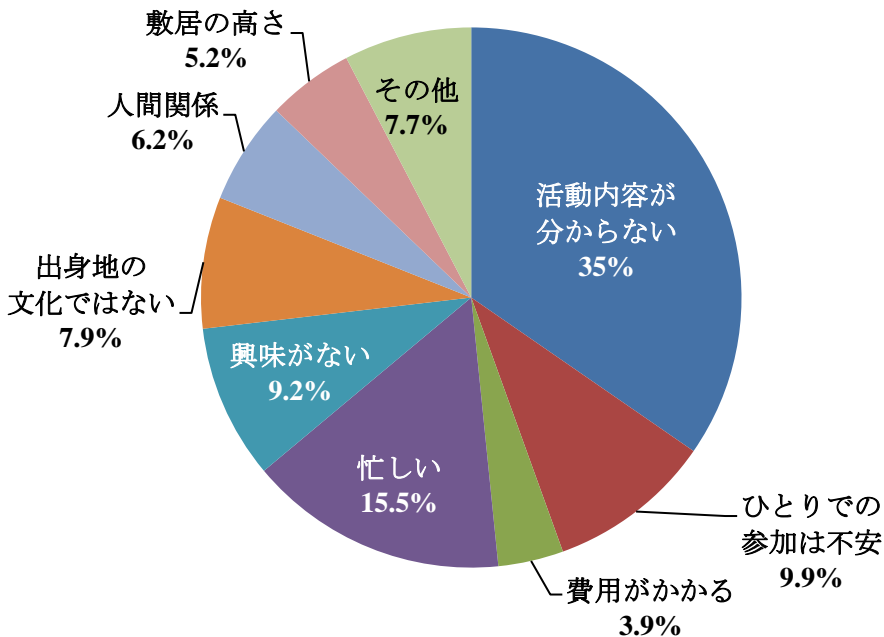


お子さまと一緒に地域の行事に参加して親しんでいると約3割の方が回答しています。

次いで多いのが、学校での活動を通して体験している方が2割となっており、地域や学校など身近で且つ取り組みやすい環境という点がポイントになっていることが分かります。

質問5: 伝統文化活動への参加が最も難しくなる要因は何だと思いますか?

— 3割以上の方が、活動内容がわからないためと回答。

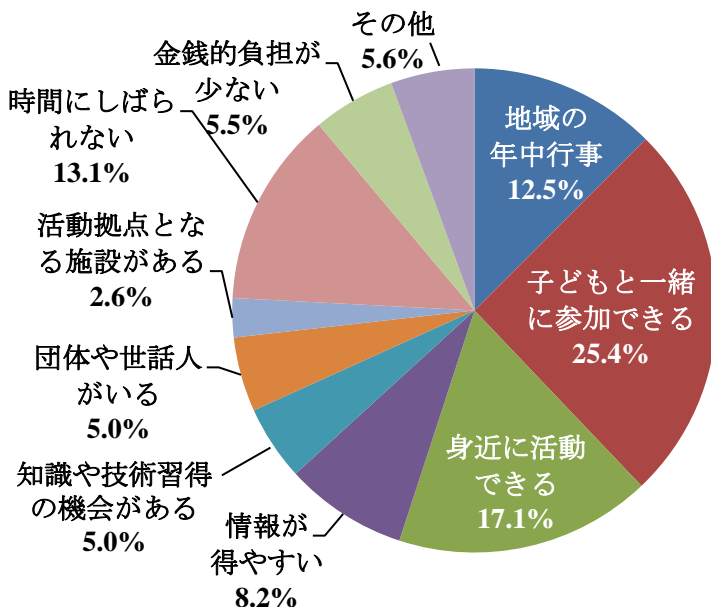


約35%の方が「活動内容が分からない」と回答され、裏をかえせば、情報が届けば参加を検討できる方が3割以上いることになります。

忙しいと回答された方は、15%となり現状の生活スタイルに合わせた活動・情報提供を求めている方が多いことがわかります。

質問6: どのような環境であれば伝統文化活動に参加したいと思いますか?

— 4人に1人がお子さまと一緒に参加できる環境が大切と回答。



約25%の方がお子さまと一緒に参加できる環境が大切と回答され、お子さまには地元の伝統文化を体験させたいと教育的な観点から重要だと感じている方が多いということが分かります。

また、「身近に活動できる」と回答された方が、17%いることから学校などを通じて体験したいと感じている保護者様は多くみられるようです。

質問7: 伝統文化について日ごろの考えをお聞かせください。(自由回答)

多くのご意見をお寄せ戴きました。 ※以下、一部抜粋したものをご紹介いたします。 ※回答数: 7,250件

<総評>

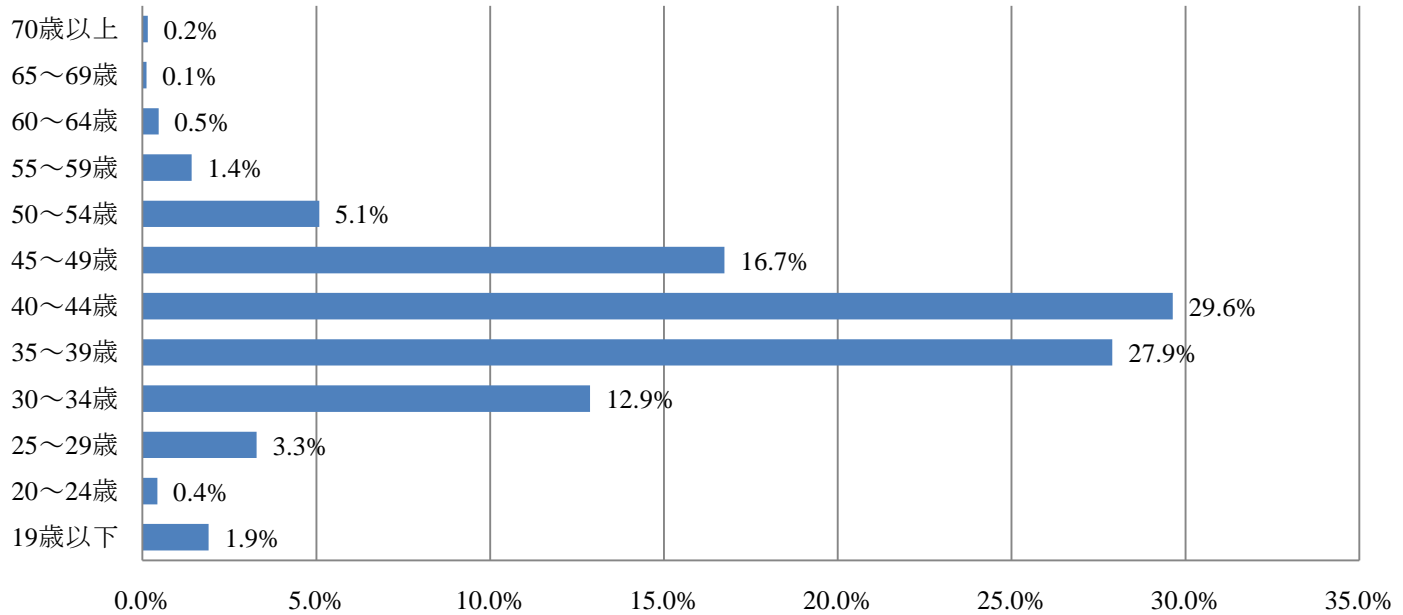
伝統文化活動について、「まず活動内容の情報提供がほしい」というご意見を最もいただきました。小さいころより子どもに体験させ、大切にしていきたいと感じている保護者の方は多いが得られる情報が少ないため、敷居が高いと感じられたり、地域の伝統文化を知らないという方も多いようです。また、転勤や核家族が増えている実状からなかなか地域の輪に踏み込めないというお母様達もいらっしゃるようです。お子さまと気軽に参加できる公共の場としての地域行事への参加や学校現場での活動は、気兼ねなく参加ができるという点で保護者から求められていることが分かります。地域のコミュニケーションを密にとり、活動を通じて触れあう機会が増え、しいてはそれが犯罪防止に繋がっていくとうたっている方も多く、現代の時代にあった形で継続して行うことが重要と考えられる方が多いようです。

<いただいた回答>

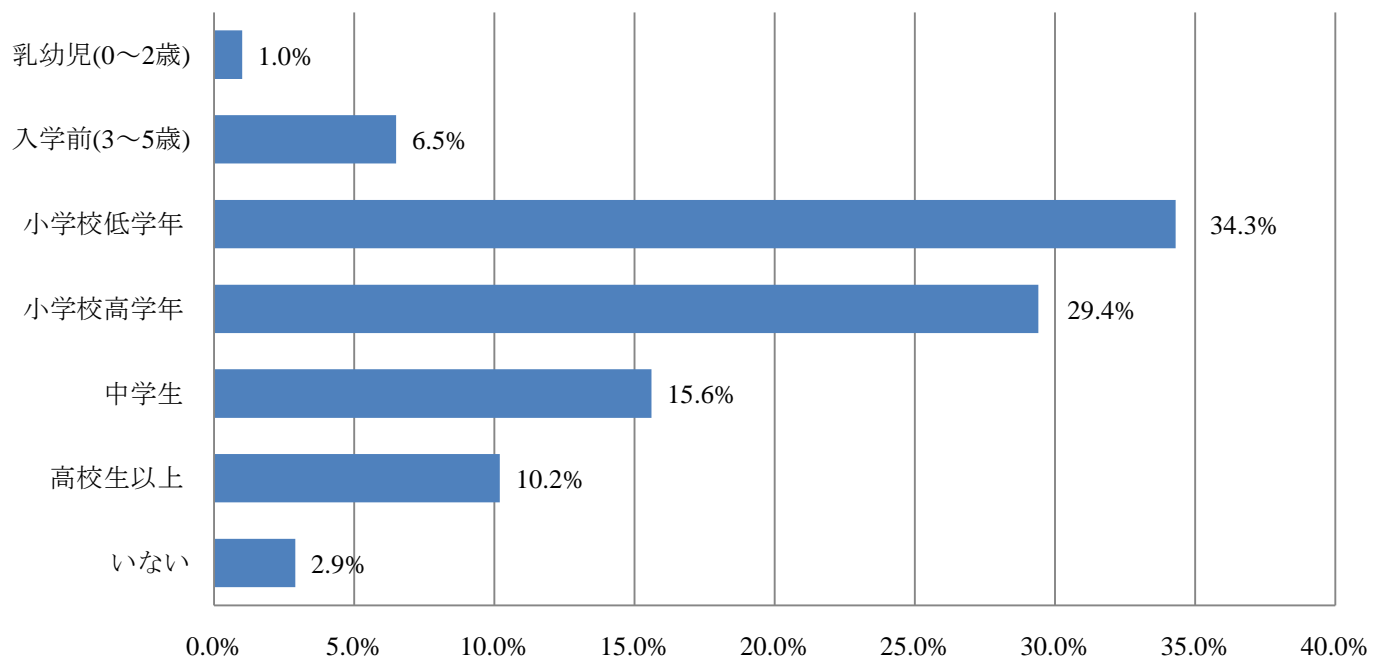
- 子供達に触れさせ1回の体験だけで終わるのではなく、継続的に深く関わってほしい。誰もが参加できるように受け入れる側も寛大になる必要はあると思います。
- 職人さんと身近に接する機会や、夏休みの自由研究として一定期間の体験やレポートを書くための見学に行くなど、学校側に保護者や地域の人にも紹介する場があるといいと思います。
- 参加したいと思いますが、忙しく継続して行うのが難しい。
- 特に親しんでいないので分かりませんが、イベントの案内などをメールで教えてもらえれば行く機会は出来ると思います。
- 親から子へ自然に語り継がれるものであり、親が分からない(知らない)場合は地域の年長者から教えてもらえると良いと思う。
- 小さい頃からその土地で生まれ育ち、祖父母などが身近にいれば、伝統文化に触れる機会も増えるでしょうが、核家族で見知らぬ土地に移り住むことが多い今の現状では難しいのではないかと思います。
- 地域の伝統文化に触れたり、参加する事によって、自分の住んでいる町が身近に感じられるようになり、大切にしようとする気持ちが生まれる。近所付き合いも密接になり、犯罪も減ると思います。
- 私の住む地域では伝統文化活動があまり盛んではないので、関わり方がよくわかりません。誰もが気軽に参加出来るような活動があるといいのですが…
- 引っ越ししてまだ数年なので、地域の伝統文化に興味がいきませんでした。まずは情報を得やすいこと。それから、自分だけでは活動しないと思いますが、子供と一緒に楽しみながらできることなら、関心があります。
- 活動が長く続かない。人間的つながりが無いため参加しても単発になってしまう。
- 地域のお祭り等に参加し、出来る限り子供達も参加させながら人間関係を作ったり文化に慣れ親しんだりしています。
- 子供ができてから意識するようになり、親子で体験する機会を増やしていきたい。
- 地元出身ではないので知る機会が無く、伝統文化があるのかもわかりません。
- その地域の伝統は未来へ向けて守っていかなければならない。その為の出費制度などがあれば良いな、と思います。
- 自治会からの情報発信があれば、広まるとかんじています。
- 大切なので守っていききたいが、昔と状況が違うので、継続するにはいろいろ問題もある。現代にあった形を見直しながら、みんなに興味や関心を持ってもらう様に工夫、努力をしないとけない。

質問8:あなたの年齢を教えてください。

30代・40代の方が約9割と、子育て真っ最中の方にご回答いただきました。



質問9:お子さまの年齢を教えてください。



質問10:お住まいの地域をお答えください。

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	161	石川県	18	岡山県	1
青森県	275	福井県	3	広島県	102
岩手県	434	山梨県	55	山口県	202
宮城県	550	長野県	12	徳島県	228
秋田県	43	岐阜県	612	香川県	54
山形県	31	静岡県	131	愛媛県	346
福島県	323	愛知県	764	高知県	0
茨城県	1429	三重県	705	福岡県	60
栃木県	4656	滋賀県	324	佐賀県	224
群馬県	1191	京都府	124	長崎県	19
埼玉県	3112	大阪府	62	熊本県	56
千葉県	1520	兵庫県	200	大分県	1
東京都	110	奈良県	180	宮崎県	256
神奈川県	9	和歌山県	4	鹿児島県	135
新潟県	83	鳥取県	314	沖縄県	52
富山県	65	島根県	25		